

ロボット戦略II 世界成長ファンド

愛称: あんしんロボ

第4期運用報告書（全体版）

（決算日 2020年5月25日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年7月17日から2023年11月27日まで	
運用方針	値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	アイルランド籍投資法人「マン・ファンズ・VI plc」のサブファンドである「マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」および国内の証券投資信託である「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）	デリバティブ取引を積極的に活用し、世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等を主要投資対象とします。
	T&Dマネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。	
分配方針	毎決算時（5月と11月の各25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ロボット戦略II 世界成長ファンド」は、2020年5月25日に第4期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	マン・ファンズ・ VI plc-マン・ AHL・ターゲット リスク-日本円 クラス(ヘッジ付) 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率				
設定日 2018年7月17日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	% -	百万円 493
1期(2018年11月26日)	9,454	0	△ 5.5	-	-	96.8	2,218
2期(2019年5月27日)	10,019	300	9.1	-	-	97.4	1,957
3期(2019年11月25日)	10,019	1,000	10.0	-	-	95.2	2,647
4期(2020年5月25日)	9,676	0	△ 3.4	-	-	95.0	7,187

(注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	マン・ファンズ・ VI plc-マン・ AHL・ターゲット リスク-日本円 クラス(ヘッジ付) 組入比率
	騰 落 率				
期首(前期末) 2019年11月25日	円 10,019	% -	% -	% -	% 95.2
11月末	10,162	1.4	-	-	97.3
12月末	10,224	2.0	-	-	96.1
2020年1月末	10,356	3.4	-	-	97.2
2月末	10,094	0.7	-	-	95.3
3月末	9,610	△4.1	-	-	93.7
4月末	9,621	△4.0	-	-	93.3
期 末 2020年5月25日	9,676	△3.4	-	-	95.0

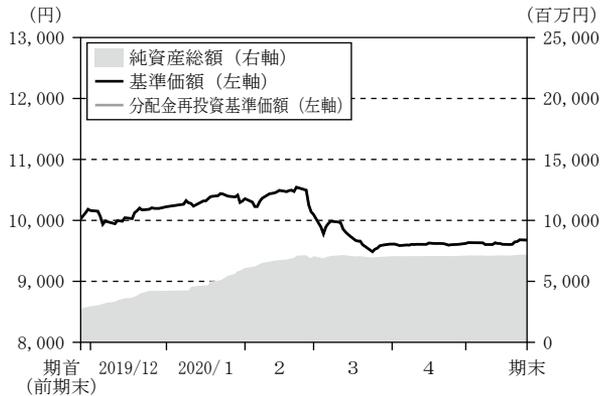
(注) 基準価額は1万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 基準価額等の推移



第4期首：10,019円

第4期末：9,676円 (既払分配金0円)

騰落率：△3.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2019年11月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス (ヘッジ付)」において、国債とインフレ連動債セクターから収益を獲得しましたが、株式、社債と商品セクターから損失が発生し、基準価額 (分配金再投資ベース) は下落しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス (ヘッジ付)	△3.1%
T&Dマネーアカウントマザーファンド	△0.0

■ 投資環境

【株式市場】

期初から2020年1月上旬は、米中貿易交渉の第一段階合意を受けた両国の摩擦緩和、英総選挙の与党圧勝を受けたEU (欧州連合) 離脱問題の進展期待からリスク選好度合が強まり、底堅い米国景気や欧州圏景気の底打ち期待と相まって、世界的に株式市場は堅調推移となりました。1月中旬以降、新型コロナウイルス感染拡大懸念が広まり、震源地の中国を中心に上値が重くなりました。2月前半には、堅調な米経済指標や新型コロナウイルス感染拡大ペースの鈍化が安心材料となり株価が上昇する局面もありましたが、2月後半以降、中国国外への新型コロナウイルスの感染拡大や、世界経済先行き不透明感が高まるなか、投資家のリスク回避姿勢が強まり、世界的に株価が急落する展開となりました。その後、米国をはじめとする主要国政府や金融当局による矢継ぎ早な金融・財政政策発動を受け、3月後半には株価の反発が見られました。その後、期末にかけては、欧米で新型コロナウイルス感染者数の増加がピークアウトしたとの見方や、経済活動再開や各国緊急経済対策への期待から、株式市場は底堅く推移しました。

【債券市場】

期初から2020年1月上旬は、主要国中央銀行の利下げ休止、米中通商合意や英総選挙結果を受けた投資家心理の改善から金利は比較的安定した推移となりました。新型コロナウイルス感染が拡大し始めた1月中旬以降は、投資家のリスク回避姿勢が強まり、金利はほぼ一貫して低下する展開となりました。特に新型コロナウイルス感染が世界的拡大となった2月半ば以降は、企業業績・景気悪化懸念から安全資産とされる国債買いの勢いが強まり、また金融市場でFRB（米連邦準備制度理事会）の利下げ観測が高まったことから金利低下が加速しました。3月に入り、米ドル現金需要が急速に高まったため国債売りにより金利が上昇する場面もありましたが、世界的な景気減速懸念に加えて、世界各国の中央銀行が金融緩和や量的緩和を実施したことが金利低下要因となりました。4月から期末にかけては、大規模経済対策に伴う国債増発懸念や株価大幅反発を受けた金利上昇も見られましたが、概ね低水準での横ばい推移となりました。

【その他市場】

インフレ連動債は、期初から2020年1月上旬は、地政学的リスク緩和や金融緩和と休止観測から金利が上昇するなか軟調な展開となりました。1月中旬から2月にかけて、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な景気後退懸念、主要国の金融緩和と実施を受け金利低下基調となり、実質金利水準が低下するなか堅調な推移となりました。その後、3月上旬に現金需要の高まりから金利が急騰する局面がありましたが、各国中央銀行が連携し米ドル供給を実施したことで落ち着きを取り戻し、期末にかけては概ね横ばいでの推移となりました。

社債は、期初から2月上旬は多少の振れはありましたが、米欧ともに信用スプレッド（信用リスクに応じた割り増し金利）は縮小基調から概ね安定推移となりました。2月中旬以降、新型コロナウイルス感染の世界的拡大や景気後退懸念の高まりを受け信用スプレッドが急拡大しました。3月下旬には、主要各国の金融緩和や量的緩和の発動から社債は反発しましたが、4月から期末にかけては一定水準で横ばい推移となりました。

商品では、貴金属やソフト商品等の一部を除き、指数全体およびエネルギーやベース金属等、多くの商品が他資産と同じ要因を背景にほぼ同様の価格推移となりました。期中、特に、大きな変動が見られたのは原油価格で、OPEC（石油輸出国機構）プラスの協調減産合意期待で底堅く推移していたところに、新型コロナウイルス感染による景気後退懸念を受け価格下落に転じ、3月上旬にはOPECプラスでの協調減産の協議が決裂したことで、原油価格は、一時、史上初のマイナス水準まで下落しました。その後、4月上旬のOPECプラスで協調減産が合意され、若干価格を戻しました。

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.21\%$ から期末は $\Delta 0.12\%$ となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」の組

入比率は概ね高位を保ちました。また、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れました。

【マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）】

世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスを投資対象とし、コンピュータープログラムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させることで、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。

【T&Dマネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は分配対象収益がないため、見送らせていただきました。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率を高位に保ち、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

【マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）】

世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスを投資対象とし、コンピュータープログラムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させることで、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

【T&Dマネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2019年11月26日から2020年5月25日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2019/11/26～2020/5/25		
	金額	比率	
平均基準価額	10,011円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	45円	0.449%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(16)	(0.164)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(27)	(0.268)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託に係る手数料
合計	46	0.458	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

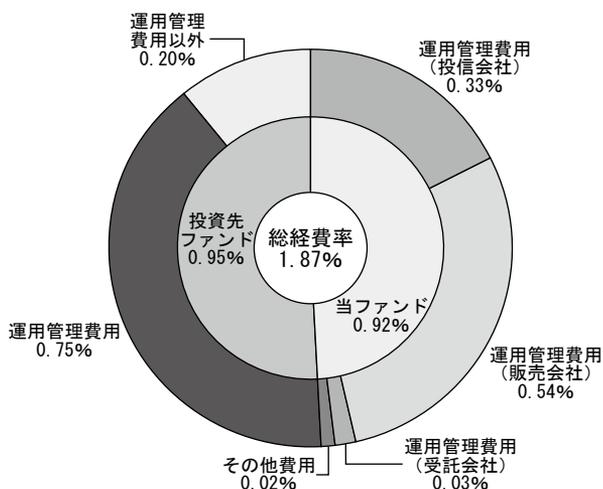
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.87%です。



総経費率 (①+②+③)	1.87%
①当ファンドの費用の比率	0.92%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2019年11月26日から2020年5月25日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ター ゲットリスクー日本円クラス (ヘッジ付)	口 381,688	千円 4,630,000	口 -	千円 -

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2019年11月26日から2020年5月25日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年5月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
マン・ファンズ・VI plcーマン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス (ヘッジ付)	口 212,828	口 594,517	千円 6,825,901	% 95.0

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
T&Dマネーアカウントマザーファンド	千口 49	千口 49	千円 49	千円 49

(注) T&Dマネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は198千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2020年5月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
マン・ファンズ・VI plcーマン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス (ヘッジ付)	千円 6,825,901	% 94.5
T&Dマネーアカウントマザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	400,021	5.5
投資信託財産総額	7,225,971	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年5月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	7,225,971,402円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	400,019,998
マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲット トリスター-日本円クラス(ヘッジ付)(評価額)	6,825,901,463
T&Dマネーアカウントマザーファンド(評価額)	49,941
(B) 負 債	38,770,165
未 払 解 約 金	11,598,467
未 払 信 託 報 酬	26,650,938
未 払 利 息	800
そ の 他 未 払 費 用	519,960
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	7,187,201,237
元 本	7,428,018,171
次 期 繰 越 損 益 金	△ 240,816,934
(D) 受 益 権 総 口 数	7,428,018,171口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	9,676円

(注) 期首元本額 2,642,263,408円
 期中追加設定元本額 5,484,209,079円
 期中一部解約元本額 698,454,316円

(注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は240,816,934円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9676円です。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)および費用控除後の有価証券売買等損益(0円)より、分配対象収益は0円(1万口当たり0円)となりましたので、当期の分配は見送らせていただきました。

損益の状況

当期 自2019年11月26日 至2020年5月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 143,161円
支 払 利 息	△ 143,161
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△321,898,338
売 買 損 益	11,902,968
売 買 損 益	△333,801,306
(C) 信 託 報 酬 等	△ 27,171,880
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△349,213,379
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 45,174
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	108,441,619
(配 当 等 相 当 額)	(△ 45,648)
(売 買 損 益 相 当 額)	(108,487,267)
(G) 合 計(D+E+F)	△240,816,934
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△240,816,934
追 加 信 託 差 損 益 金	108,441,619
(配 当 等 相 当 額)	(△ 45,648)
(売 買 損 益 相 当 額)	(108,487,267)
繰 越 損 益 金	△349,258,553

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位:円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2019年11月26日 ～2020年5月25日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	0

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率は異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

補足情報

T & D マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

T & D マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	アイルランド籍／外国投資法人／円建
運用の基本方針	中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	デリバティブ取引を積極的に活用し、世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等を主要投資対象とします。
投資態度	<ul style="list-style-type: none"> ・投資運用会社独自の数量モデル「マン・ターゲットリスク戦略」に基づき、デリバティブ取引を積極的に活用します。 ・世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスに投資します。 ・システマチック・アルゴリズムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させます。 ・目標ボラティリティ水準を維持することにより、あらゆる市場環境において超過収益の獲得を目指します。なお、目標ボラティリティは10%とします。 ・デリバティブ取引において、レバレッジを活用します。 ・投資運用会社の判断により、ショートポジションを構築して保有しているロングポジションを相殺し、ポジションを削減する場合があります。 ・資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券（先物等のデリバティブ取引は含みません。）の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ・一発行会社の発行する譲渡可能な証券、金融市場証券の組入れは、原則として10%以下とします。 ・店頭デリバティブ取引におけるカウンターパーティーへのリスクエクスポージャーは、原則として純資産総額の5%以下とします。
決 算 日	毎年12月31日
分 配 方 針	原則として分配は行いません。
管 理 会 社	マン・アセット・マネジメント（アイルランド）リミテッド
投資運用会社	AHL パートナーズ LLP

※次ページ以降の記載は、マン・グループ・ジャパン・リミテッドより入手した「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスク」の監査済報告書および保有明細をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

※「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」は、「マン・ファンズ・VI plc」のサブファンドである「マン・AHL・ターゲットリスク」が発行する円建て外国投資信託証券です。

マン・ファンズ・VI plc—マン・AHL・ターゲットリスク

(1) 損益計算書

計算期間：2019年1月1日～2019年12月31日

単位：米ドル

収益	
損益通算後の金融資産・負債の純増減額	241,376,062
払い戻し費用	1,665,880
収益合計	243,041,942
費用	
運用報酬	7,321,478
事務代行費用	3,262,988
その他費用	310,143
保管費用	192,629
弁護士費用	42,621
監査費用	23,757
取引およびブローカー費用	3,695
役員報酬	6,243
費用合計	11,163,554
受益証券保有者に帰属する純損益	231,878,388

(注) 日付は現地基準です。

(注) 「マン・ファンズ・VI plc—マン・AHL・ターゲットリスク」における「日本円クラス（ヘッジ付）」の持分比率は18.1%です。なお、持分比率は監査済報告書の情報をもとに当社が算出したものです。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2019年12月31日

(A) 国債

銘柄名	数量	評価額
フランス		米ドル
French Republic Government Bond OAT 0.1% 01/03/2029	65,154,030	80,697,599
French Republic Government Bond Oat 0.7% 25/07/2030	86,300,900	114,819,408
小計		195,517,007
ドイツ		
Deutsche Bundesrepublik Inflation Linked Bond 0.5% 15/04/2030	151,652,930	202,532,486
イギリス		
United Kingdom Gilt Inflation Linked 0.125% 10/08/2028	56,163,240	92,346,587
United Kingdom Gilt Inflation Linked 0.125% 22/03/2029	92,965,480	154,862,537
小計		247,209,124
アメリカ		
United States Treasury Bill 0% 09/01/2020	5,000,000	4,998,737
United States Treasury Bill 0% 23/01/2020	5,000,000	4,995,826
United States Treasury Bill 0% 26/03/2020	1,000,000	996,501
United States Treasury Bill 0% 02/04/2020	1,000,000	996,165
United States Treasury Bill 0% 09/04/2020	1,000,000	995,895
United States Treasury Bill 0% 18/06/2020	16,000,000	15,885,415
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.5% 15/04/2024	123,455,090	125,538,396
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.125% 15/10/2024	38,112,860	38,359,254
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.75% 15/07/2028	98,413,440	103,670,486
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.875% 15/01/2029	72,356,810	76,938,466
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.25% 15/07/2029	66,395,340	67,137,101
小計		440,512,242
合計		1,085,770,859

(B) クレジット・デフォルト・スワップ

売り		
銘柄名	数量	評価額
欧州		米ドル
ITraxx Europes 32V1 5Years 100bps 20 December 2024	(510,000,000)	15,899,665
ITraxx Xovers 32V1 5 Years 500bps 20 December 2024	(105,000,000)	16,058,352
小計		31,958,017
アメリカ		
NAHYS 33V2 5Years 500bps 20 December 2024	(245,000,000)	23,297,912
NAIGS 33V1 5Years 100bps 20 December 2024	(585,000,000)	15,158,569
小計		38,456,481
合計		70,414,498

買い		
銘柄名	数量	評価額
欧州		米ドル
NAIGS 33V1 5Years 100bps 20 December 2024	5,000,000	(129,560)
合計		(129,560)

(C) トータルリターン・スワップ

銘柄名	数量	評価額
アメリカ		米ドル
BBG Commex AG&LV Capital	2,093,000	6,913,520
合計		6,913,520

(D) 先物取引

銘柄名	買/売	数量	評価額
フランス			米ドル
CAC40 10 Euro Futures January 2020	買	713	12,986
ドイツ			
EURO BTP Futures March 2020	買	313	110,831
Euro Stoxx 50 March 2020	買	1,426	159,911
小計			270,742
香港			
Hang Seng Index Futures January 2020	買	108	160,470
HSCEI Futures January 2020	買	273	167,118
小計			327,588
日本			
TOPIX Index Futures March 2020	買	274	49,229
シンガポール			
FTSE China A50 Index January 2020	買	275	67,199
韓国			
Korea 3 Years Bond Futures March 2020	買	263	21,211
KOSPI2 Index Futures March 2020	買	599	1,984,872
小計			2,006,083
スイス			
Swiss Market Index Futures March 2020	買	254	173,832
トルコ			
BIST 30 Futures August 2019	買	4,101	65,620
イギリス			
FTSE 100 Index Futures March 2020	買	2,634	3,496,538
アメリカ			
NASDAQ 100 E-Mini Index Futures March 2020	買	561	2,212,280
S&P500 Emini Futures March 2020	買	1,278	3,573,768
小計			5,786,048
合計			12,255,865

銘柄名	買/売	数量	評価額
オーストラリア			米ドル
SPI 200 Futures March 2020	買	119	(379,436)
カナダ			米ドル
Canadian 10 Years Bond Futures March 2020	買	303	(579,496)
S&P/TSX 60 IX Futures March 2020	買	474	(22,243)
小計			(601,739)
ドイツ			
DAX Index Futures March 2020	買	121	(267,337)
EURO BOBL Futures March 2020	買	895	(389,642)
EURO BUND Futures March 2020	買	791	(1,732,702)
EURO BUXL 30 Years Bond March 2020	買	73	(446,912)
EURO OAT Futures March 2020	買	432	(670,099)
小計			(3,506,692)
イタリア			
FTSE/MIB Index Futures March 2020	買	222	(185,521)
日本			
Japan 10 Years Bond (OSE) March 2020	買	164	(199,310)
オランダ			
Amsterdam Index Futures January 2020	買	281	(256,844)
シンガポール			
MSCI SING IX ETS January 2020	買	492	(31,395)
MSCI Taiwan Index January 2020	買	261	(74,330)
NIKKEI 225 (SGX) March 2020	買	739	(246,525)
SGX Nifty 50 January 2020	買	104	(18,002)
小計			(370,252)
南アフリカ			
FTSE/JSE Top 40 March 2020	買	293	(138,623)
韓国			
Korea 10 Years Bond Futures March 2020	買	188	(73,933)
スウェーデン			
OMXS30 Index Futures January 2020	買	609	(144,804)
イギリス			
Long Gilt Futures March 2020	買	1,943	(3,741,281)
アメリカ			
United States 10 Years Note (CBT) March 2020	買	1,491	(1,915,653)
United States 2 Years Note (CBT) March 2020	買	339	(52,109)
United States 5 Years Note (CBT) March 2020	買	1,225	(544,227)
United States Long Bond (CBT) March 2020	買	843	(2,884,883)
United States Ultra Bond (CBT) March 2020	買	454	(3,039,754)
小計			(8,436,626)
合計			(18,035,061)

(E) 為替先渡取引

通貨		評価額	評価損益
買い	売り		
		米ドル	米ドル
CHF	USD	57,646,917	1,434,332
EUR	USD	28,668,469	122,941
EUR	USD	452,110,476	6,917,598
GBP	USD	357,970,140	9,594,728
JPY	USD	17,842,723	82,483
SEK	USD	159,812	3,730
SGD	USD	644,612	8,533
USD	JPY	2,662,460	841
合計			18,165,186

通貨		評価額	評価損益
買い	売り		
		米ドル	米ドル
BRL	USD	3,850,000	(4,647)
GBP	USD	5,353,962	(53,567)
JPY	USD	200,687,421	(295,973)
SEK	USD	2,265	(4)
USD	CHF	1,720,289	(38,865)
USD	EUR	451,158,033	(5,229,194)
USD	EUR	15,421,388	(200,243)
USD	GBP	260,739,282	(1,607,731)
USD	GBP	10,847,637	(229,999)
USD	JPY	3,234,203	(18,568)
USD	SEK	4,569	(84)
USD	SGD	17,109	(273)
合計			(7,679,148)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

T & D マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第7期（決算日 2019年9月10日）
（計算期間 2018年9月11日から2019年9月10日）

「T & D マネーアカウントマザーファンド」は、2019年9月10日に第7期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。 株式への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産額
	期騰落	中率			
3期（2015年9月10日）	円 10,020	% 0.0	% —	% —	百万円 43
4期（2016年9月12日）	10,016	△0.0	—	—	8
5期（2017年9月11日）	10,012	△0.0	—	—	4
6期（2018年9月10日）	10,006	△0.1	—	—	2
7期（2019年9月10日）	10,000	△0.1	—	—	2

（注）基準価額は1万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率	券 率
期首(前期末) 2018年9月10日	円	%	%	%	%
	10,006	—	—	—	—
9月末	10,006	0.0	—	—	—
10月末	10,005	△0.0	—	—	—
11月末	10,005	△0.0	—	—	—
12月末	10,004	△0.0	—	—	—
2019年1月末	10,004	△0.0	—	—	—
2月末	10,003	△0.0	—	—	—
3月末	10,003	△0.0	—	—	—
4月末	10,002	△0.0	—	—	—
5月末	10,002	△0.0	—	—	—
6月末	10,001	△0.0	—	—	—
7月末	10,000	△0.1	—	—	—
8月末	10,000	△0.1	—	—	—
期 末 2019年9月10日	10,000	△0.1	—	—	—

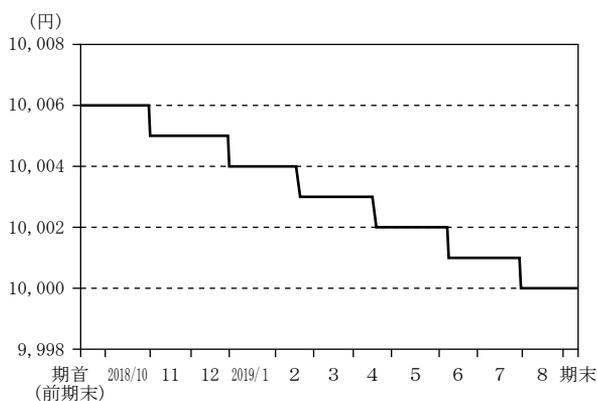
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,006円からスタートし、期末は10,000円へ下落しました。運用対象であるコールローンの利回りがマイナスで推移したため、小幅な下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.13%から期末は△0.18%となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要の高まりや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率は緩やかに上昇していくことが見込まれるものの、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2018年9月11日から2019年9月10日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2018/9/11~2019/9/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,002円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.001% (0.001)
合計	0	0.001

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2018年9月11日から2019年9月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2018年9月11日から2019年9月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2019年9月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2019年9月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 2,289	%
投 資 信 託 財 産 総 額	2,289	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,289,472円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,289,472
(B) 負 債	4
未 払 利 息	4
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,289,468
元 本	2,289,524
次 期 繰 越 損 益 金	△ 56
(D) 受 益 権 総 口 数	2,289,524口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,000円

(注) 期首元本額 2,499,373円
 期中追加設定元本額 189,963円
 期中一部解約元本額 399,812円

(注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は56円です。

(注) 1口当たり純資産額は1,0000円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 T&D日本株ファンド(通貨選択型)マネーブルコース 2,189,637円
 ロボット戦略 世界分散ファンド 49,921円
 ロボット戦略II 世界成長ファンド 49,966円

損益の状況

当期 自2018年9月11日 至2019年9月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△1,485円
支 払 利 息	△1,485
(B) そ の 他 費 用 等	△ 27
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△1,512
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1,607
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	37
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 188
(G) 合 計 (C + D + E + F)	△ 56
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△ 56

(注) 損益の状況の中で

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。